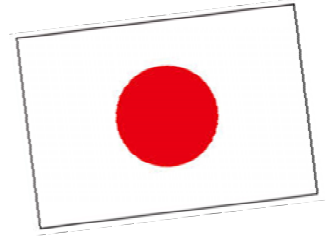


福岡日英協会主催



「クロスカルチャーのすゝめ」 ～グローバルな国・英国在住 27 年の



総合プロデューサーが語る「日本が英国から学ぶもの」～

時下、ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。

さて、この度、英国在住 27 年、地方銀行から英国マーチャントバンクという金融機関での勤務経験を捨てて、日欧文化の懸け橋となるべく英国で長年音楽・映像・イベントのプロデュースや執筆活動をする傍ら、日本と英国を煩雑に行き来して「グランドファーザーズレター」や「ぼくらのワールドカップ」、「門司港バナちゃんブギ」等の活動を企画実施している松任谷愛介さん(クロスカルチャーホールディングス代表・総合プロデューサー)をお招きして、芸術・文化・ビジネスどれをとっても日本よりも数段先を行っているグローバルで先進的な英国から日本は何を学ぶべきかについて語っていただきます。

皆様お誘い合わせの上、たくさんの方々のご参加をお待ち申し上げます。



講師プロフィール：松任谷愛介氏 クロスカルチャーホールディングス代表取締役

東京杉並区生まれ。1978年慶応義塾大学経済学部卒業後、横浜銀行に入社。渋谷支店、国際部、ディーリングルームで勤務。1988年シカゴ大学MBA取得。1989年より英国マーチャントバンクGuinness Mahon社に入社、同社取締役、代表取締役副会長職歴任。経営より実業が好きで、機関車トーマスやレコード会社立ち上げなど数々の映像、音楽開発に従事。1997年、Guinness Mahonにおける全ての取締役職を辞職して、ロンドンにプロデュース会社Cross Culture Holdings社を設立し、プロデューサー兼代表取締役に就任。日欧文化の架け橋となるべく、音楽・映像・イベントのプロデュースや執筆活動に従事。普遍的価値を創造するプロデューサーとなることを目指して、現在に至る。

課外では、ロンドンの金融会社数社の顧問のほか、大英博物館日本会名誉会長（～04年）、GFL実行委員会会長、海の向こうからメッセージを伝える会会長等を兼務。1989年から数年、英国暁星国際大学非常勤講師。2005年より立命館大学経営学部客員教授として「プロジェクト研究」「海外インターン研修」指導（～12年3月）、2012年より同客員研究員（～14

◇ 日時:2016年3月1日(火) 18:30～20:00

◇ 会場:NCBリサーチ&コンサルティング 会議室

福岡市博多区下川端町 2-1 Tel:092-282-2662
博多リバレインイーストサイト博多座・西銀ビル 13F

◇ 会費:会員 500 円 / 非会員 1,500 円(当日会場にてお支払い)

◇ 定員:35 名(先着順)

◇ お申込み方法:① 出席者の氏名(法人会員は会社名も)

② 電話番号(当日連絡可能なもの)

を 2 枚目に記入の上 FAX、または電話・Eメールにてお願いします。

福岡日英協会事務局 The Fukuoka-Japan British Society

〒812-0011 福岡市博多区博多駅前 1-3-6 Tel:092-476-2155 Fax:092-476-2634

Email: fjbs.event@castle.ocn.ne.jp 担当 河部・汐田

FAX 092-476-2634

福岡日英協会 行



2016年3月1日(火)セミナー申込書
(松任谷愛介氏の「クロスカルチャーのすゝめ」セミナー)

参加者氏名: _____ 一般会員・法人会員(社名: _____)・非会員

ご同伴者氏名: _____ 一般会員・法人会員(社名: _____)・非会員

当日連絡可能なお電話番号: _____

申込み〆切2016年2月19日(金)

* 頂いた個人情報は厳重に管理し、福岡日英協会の活動以外の目的には使用いたしません。